

AIエージェントが拓く企業知財の未来：NEC「無人組織」モデルから学ぶ変革の指針

知財業務の劇的変革と導入ロードマップ

調査・作成工数 **80%以上削減**
先行技術調査や明細書作成のリードタイムを、数ヶ月から数日・数時間単位へ

作業員から「知財アーキテクト」へ
人間の役割は、定型業務からAI組織を率いる監督者・戦略設計者へと完全に移行する

知財実務の前後比較

従来の人間の業務	AI共生モデルの効果
先行技術調査 手作業での検索・査読	調査工数80%削減、 重要公報に集中
明細書作成 ゼロからのタイピング	ドラフト自動生成により 戦略検討ヘシフト
拒絶理由対応 審査官指摘の手動分析	解析AIが反論ロジック 構築、対応時間半減

3段階の導入フェーズ



自律型マルチエージェントの「4階層ガバナンス」

階層	担当役割の例	主な技術的機能
AIボード	AI財務役 (CFO)	財務・ROI試算、 全社リスク分析
AIマネージャー	AI使田効	業務AIの生成、 効率コストの監査
業務AI	筐面戦典、 業出創	RAGによるデータ解析、 文書ドラフト生成

